



大和田あきお なんでも相談 ビフォー・アフター シリーズ NO.273

今にも倒れそうな児童横断標識ポール

危険な児童横断標識の修理を要望 戸塚町

大和田あきお事務所は、基本的に毎月、戸塚区役所、戸塚土木事務所、戸塚警察署に市民の要望を伝える申し入れを行っています。

戸塚町の住民から出された要望は、環状3号線旧授産所の交差点（戸塚町はなえみ交差点）付近の道路等の改善と共に、保田第一動物病院の角にある児童横断標識のポール（「修復前写真」の真ん中の横断標識）は今にも倒れそうであり、危険な児童横断標識の早急な修復を求めています。

大和田あきお事務所は、20

自民・維新の連立—悪政推進に正面から対決する 自民党政治を終わらせて新しい日本の政治を！



10月26日の午後、戸塚地区センターの会議室が熱気に包まれました。「どうなる？どうする？」と題された「つどい」に、地域住民など約40名が参加。弁士には、日本共産党の横山氏らが出陣しました。

横山氏は、危機に陥った自民党が維新の会との連立政権に活路を見出す動きを指摘。これは、九条改憲や医療費削減、大軍拡の前倒し、「スパイ防止法」制定など、国民にとって最悪の悪政を推進する危険な「反動ブロック」であると警鐘を鳴らしました。

横山氏は、危機に陥った自民党が維新の会との連立政権に活路を見出す動きを指摘。これは、九条改憲や医療費削減、大軍拡の前倒し、「スパイ防止法」制定など、国民にとって最悪の悪政を推進する危険な「反動ブロック」であると警鐘を鳴らしました。

戸塚の未来を語る熱いつどい！

「どうなる？どうする？」開催！

山せい「県青年学生部長を迎え、関心の高い政治情勢について、深く掘り下げた話を聞く貴重な機会となりました。」

共産党が訴える

「三つの共闘」とは？」

14時にスタートした集いでは、まず日本共産党創立103周年記念講演の第1章の録画を視聴。その後、現在注目される「高市政権誕生による情勢」について、横山氏から具体的な解説がありました。

横山氏は、危機に陥った自民党が維新の会との連立政権に活路を見出す動きを指摘。これは、九条改憲や医療費削減、大軍拡の前倒し、「スパイ防止法」制定など、国民にとって最悪の悪政を推進する危険な「反動ブロック」であると警鐘を鳴らしました。



修復前（撮影2025年5月18日）



修復後（撮影2025年6月17日）



大和田あきお事務所のQRコード



大和田あきお事務所のLINEのQRコード

政治革新の道しるべ、
真実つたえ希望はこぼ

しんぶん 赤旗

日刊●月 3497円
日曜版●月 990円



申し込み特設サイト



日刊紙
電子版も
好評です
月3,497円

スクープで社会を動かす

しんぶん 赤旗

日曜版 あなたのスマホに

電子版

日本共産党

「あなたの声を
届けます」

要求アンケート
2025 実施中

150万人要求継続

あなたの願いを是非お寄せ下さい。



維新・藤田共同代表、還流構図認める

記者会見 「赤旗」攻撃繰り返す

公設第1秘書が代表を務める会社への公金支出を巡る疑惑が「しんぶん赤旗」日曜版（11月2日号）で報じられた日本維新の会の



（写真）日本維新の会の藤田文武共同代表側による身内への税金還流疑惑を報じた「赤旗」日曜版（11月2日号）

藤田文武共同代表は4日、国会内で会見し、公金還流の事実を認め「今後は発注しない」と表明しました。その一方で「記事は恣意

（しい）的に作られた。今後は共産党および『しんぶん赤旗』の質問には一切、返答しない」と述べ、記事が虚偽であるかのような攻撃を繰り返しました。

藤田氏は、インターネット上に取材した日曜版記者の名刺画像を編集部が公開していない電話番号が見え、担当記者のメールアドレスが推測できる状態で掲載。この後、担当記者を名指ししての電話があり、なりすましが疑われる迷

惑メールが大量に送信されています。しかし藤田氏は「携帯電話（番号）は消しているし、メールアドレスのドメインも消している。それ以外の番号は公開情報」と述べ、削除しない考えを示しました。

第1秘書が代表の会社の実態について、記者から質問が相次ぎました。「（秘書の会社に）冊子7万部315万円で発注したが、いくらで別の会社に発注したのか」などと問われましたが、藤田氏は、「（原価を）出した場合、僕は訴えられる」「デザイン業務をなめすぎ」「それはあなたの感想。一般的な商慣習を知らないだけ」と、問いに答えず、質問する記者を威嚇するような発言が目立ちました。

「議員削減」で

本当に暮らしは

良くなる？

自民・維新の連立条件

衆院定数1割カットの裏側

今、新しい高市政権がスタートし、連立を組んだ日本維新の会が「衆議院議員を1割減らす法案を

今すぐ通せ」と強く要求しています。自民党の裏金問題で政治への不信が高まる中、維新の会は「政治家が身を切るのが改革の本質」（吉村洋文代表）だとアピール。私たち市民の「政治家はいい思いをしている」という不満に訴えかける形です。

しかし、この「身を切る改革」、よく見ると私たち市民の暮らしを良くするどころか、大切なものを奪いかねないという指摘が出ています。

削減効果はごくわずか、

議員の懐は逆に増える？

国会議員を50人減らしても、経費削減効果は年間約35億円と限定的です。裏金問題の原因である金権体質が変わるわけではありませぬ。それ以上に問題なのが、議員の最大の特権である「政党助成金」です。

これは国民一人あたり年間250円から賄われ、総額約316億円が日本共産党以外の各党に分配されています。議員が減ってもこの総額は変わらないため、なんと議員一人あたりに配分される金額はかえって増えることになりま

「民意」が遠ざかるリスク

この削減案は、私たちの「声」（民意）を切り捨てて危険性が高いと警鐘が鳴らされています。

定数削減の対象となるのは主に比例代表です。これが減ると、小

政党や多様な意見が議会に届きにくくなり、結果的に大政党が市民の声を無視した悪政を進める突破口になりかねません。

過去には、「身を切る改革」を口実に、消費税増税や、維新が主導した大阪では公務員削減、公立病院や高校の統廃合が進み、地域住民の行政サービスが低下したという前例もあります。結局、「身を切る改革」とは、国民に負担を強いるための口実になってしまっているのです。

本当に政治の金権腐敗を断ち切り、私たちの暮らしを良くする改革を進めるには、議員削減ではなく、『政党助成金と企業・団体献金の廃止こそが必要不可欠だ』という声が強まっています。

「新しい政治プロセス」を前に進める 日本共産党

11月号の正解者は、汲沢キンギョ、亮輔じいじ、上倉田IHさん、正子ちゃん、kakkoo-iさん、Dさん、Nさん、泉区T子さんでした。

※ハガキ・メール・ラインで解答をお寄せ下さい。正解者次号発表。
tomo.nanpure@gmail.com

1	2	5	6	4	8	3	7	9
6	9	8	7	3	1	5	2	4
7	3	4	5	2	9	1	6	8
3	4	6	8	9	5	2	1	7
5	8	7	3	1	2	9	4	6
2	1	9	4	7	6	8	3	5
8	7	1	9	6	3	4	5	2
4	5	3	2	8	7	6	9	1
9	6	2	1	5	4	7	8	3

(ア)				1	6			
			2	6		9		
		1		3		7		5
	1		4	3		2		
7		2		6		4		3
	8		5		2		6	
4		6		5		2		
	2		6		1			
		3		2				

問
赤枠部分の、
「ア」に入る数字は？

ナンプレ

学生食料支援プロジェクト 募金・生活物資ご協力のお願い

【募金送り先】

郵便口座 00210-1-15562
加入者名 日本共産党横浜西南地区
通信欄 学生支援

【食料・生活物資の届け先】

日本共産党横浜西南地区委員会
横浜市戸塚区戸塚町 3875
問合わせ 045(864)1861

お困りごとや
ご心配ごとは
『なんでも相談』
へお気軽にお問合せ
下さい。

☎ 865-0074

12月の早朝駅頭宣伝

東戸塚駅(水曜) 10・24日
戸塚駅東口(水曜) 3・17日
戸塚駅西口(金曜) 5・12・19・26日
地下鉄踊場駅(第2火曜) 9日
地下鉄舞岡駅(第4木曜) 25日(予定)
(各駅とも朝7時～8時、舞岡駅 朝7時半～8時半)